



楽団員が語る！

楽団紹介コーナー

上野浅草室内管弦楽団

当団は上野浅草フィルハーモニー管弦楽団を前身として1987年に設立された小編成の室内オーケストラです。月2回、日曜日の夕方に浅草小学校で練習に励み、その成果を発表する場として、年2回、我が国最古の演奏会ホールである旧東京音楽学校奏楽堂で定期演奏会を開催してきました。

今回のソリスト高木氏とは2回目の共演です。オケ伴奏をするにあたり当団の特徴である緻密なアンサンブルとソリストとの親和性を出すことができれば、きっとお客様にも満足

していただけると確信しています。

そして、2019年6月以来6年ぶりとなるベートーヴェン交響曲第1番。彼の初期の作品に含まれるこの曲ですが、先達の影響が強く見られるにも関わらず、既にベートーヴェンの独自性が現れています。若々しいエネルギーに溢れたこの曲に負けないよう気持ちだけは若く持って演奏したいものです。

したやウィンドアンサンブル

1955年、台東区が設けた「台東区青少年吹奏楽団」が前身。創立当時は区の社会教育課直接の運営であったが、1967年、団員による自主運営となり「下谷ウィンド・アンサンブル」と改称。1994年、家田厚志氏を音楽監督に迎え、その成果として第18回定期演奏会ではベルリオーズの「葬送と勝利の交響曲」を演奏、圧倒的な反響を呼ぶ。

1996年、第20回記念演奏会を機に「したやウィンド・アンサンブル」へ改称し、現在に至る。2014年には音楽監督20

周年を記念して、家田氏が当団で初めて指揮した演奏会のプログラムを再演し、好評を博す。意欲的な企画の演奏会を重ねている。今年は前身団体の設立から数えて70周年にあたる。

家田監督をはじめ、我が団の誇るミュージック・アドバイザー陣からも指導を仰ぎながら、それぞれの先生方と、指揮者として、ソリストとして、共演を重ねる。

現在は春・秋の2回の演奏会を主として活動中。

上野浅草フィルハーモニー管弦楽団

1984年に東京都台東区の音楽愛好家によって設立。

1988年には台東区の姉妹都市であるウィーン市との文化交流の一環として渡奥し、演奏会を行う。

1993年に創立10周年記念演奏会としてベートーヴェンの「第九」を、日本で初演された旧東京音楽学校奏楽堂で、初演当時のスタイルと規模で演奏。

2005年に東京文化会館・第20回オーケストラフェスティバルにて、森利子バレエ団と共にチャイコフスキー「白鳥の湖」を上演。

2016年第60回記念演奏会では、すみだトリフォニーホールにて、

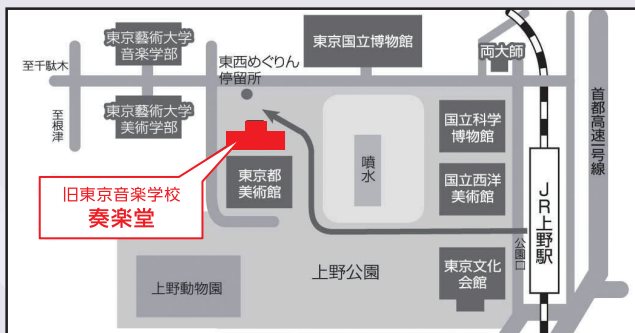
レスピーギ「ローマの祭り」サン・サーンス交響曲第3番「オルガン付」を演奏。

年2回行われる定期演奏会では「語り」を交えたコンサートや、演奏会形式によるオペラ、バレエ団との共演など、ユニークな企画を数多く行ってきております。

また選曲も芥川也寸志や伊福部昭など邦人の曲を取り上げたり、プーランク、フォーレなどフランス人の作曲家ばかりのプログラムを組んだり、プロのオーケストラでもあまり取り上げられないような曲にも積極的に取り組み、数あるアマチュアオーケストラの中でも、その独創性で注目されております。

旧東京音楽学校奏楽堂

東京都台東区上野公園8-43



- ・JR上野駅（公園口）より 徒歩10分
- ・東西めぐりん（上野公園経由）
- ⑤旧東京音楽学校奏楽堂 下車すぐ

浅草公会堂

東京都台東区浅草1-38-6



- ・つくばエクスプレス
- ・東京メトロ銀座線／東武鉄道
- ・都営浅草線
- 「浅草駅」下車徒歩3分
- 「浅草駅」下車徒歩5分
- 「浅草駅」下車徒歩7分



登録商標

東京 浅草 伝法院通り

大黒家天麩羅

電話 3844-1111・2222 公会堂隣

健康とむきあうひとときを、

もっとゆたかに、快適に

人間ドック 各種健康診断 附属クリニック

台東区総合健康診査・子宮頸がん検診・マンモグラフィ併用乳がん検診受託機関／全国健康保険協会生活習慣病予防健診施設
東京都台東区根岸2-19-19 JR日暮里・鶯谷駅徒歩6分
<https://www.seiyoukai.jp> 03-3873-9161



医療法人社団 せいおう会
鶯谷健診センター

すべての健診は男女別専用フロアで

地元応援団

+朝日



街の鼓動に敏感です
朝日信用金庫

pannapitta
© '24 SANRIO CO., LTD.
APPR No. L621817